



広安里 第1号

発行 釜山日本人学校
釜山広域市水営区民樂路 19 番道 11
TEL 051-753-4166
FAX 051-756-4851
<http://user.chollian.net/~pusjpnsc>

ご入学おめでとうございます。

校長 西出 昇



新入生の皆さんご入学おめでとうございます。

4月14日には、在釜山日本国総領事 松井貞夫 様をはじめ多数のご来賓の方々のご臨席のもと、釜山日本人学校第39回入学式を盛大裡に挙行できました。重ねて厚くお礼申し上げます。

今年度は、児童生徒数39名、派遣教員8名、現地採用職員2名、外国人講師4名、ボランティア講師1名の計15名の教職員でスタートを切ることになりました。どうぞ宜しくお願いいたします。

入学式では教職員を代表して新入生の皆さんに次のような話をしました。

「皆さんの世代、皆さんのこれからは、世界を相手に生きていくという意識、心が大切です。それは、日本に生まれ、日本で育ち、日本で大人になっているとなかなか身につかない心です。

日本の大学生、お兄さんやお姉さんが海外に留学、外国の学校で学ぼうとするのは、その大切さがわかっているからです。

そして外国は好きでない、日本が好きという人もたくさんいますが、日本の中にも世界の人々と競争する時代になっています。日本の会社が採用する人は今では日本人だけではありません。日本の会社なのに採用する人は半数以上が外国人というケースもたくさんあります。

難しい言葉でグローバル大競争と言われていています。世界が一つの大きな運動場になり世界の人々がそこで競争するのです。

日本が好き、そして世界も好き、そんな心を持ち、国籍、生まれた国や考えの異なる人々と肩を組んで物事を成し遂げることができる人が必要になっているのです。

皆さんは釜山日本人学校でそんな資質を、心を身に付けて欲しいと思います。皆さんは今の環境が実は恵まれたものだということに気づき、ぜひそれを生かして大きな心を作って欲しいと思います。」

世界がグローバル大競争に突き進むなかで、本校の子どもたちに今、どのような力を具体的につけるべきかを常に考える必要があります。釜山日本人学校はアンテナを高くかかげ日本や世界の教育の大きな流れや他校の先進的な取り組み等、そして親の願いをもしっかりと捉え、必要なものは貪欲に取り入れ子どもに返していきたいと思ひます。



学級の窓

中学部 1年生

中学部 1年生学級目標

中学部 1年生の目指す生徒像

- 学ぶ楽しさを知り、自ら学ぼうとする意欲をもった生徒
- 自他のよさを認め合い、相手の立場に立って物事を考えることができる生徒
- 休み時間や放課後には積極的に校庭で体を動かし、体力向上に努める生徒

学級では、こんな取り組みをしています

新聞感想スピーチ

…学校で購読している新聞や、各家庭で読んでいる新聞の気になった記事を切り抜き、その記事の解説と自分の考えを発表します。

お楽しみポイント

…学級のきまりを守ることができたらポイントがたまり、一定の数でお楽しみ会をすることにしています。

朝の合唱

…毎月合唱曲を決め、朝の会で合唱しています。

中学生になって

小学生の時よりも、もっと数学と英語をがんばっていきたいです。それと新しいメンバーが増えたので、仲良く楽しい一年にしていきたいです。

中学2年生を支え、自分が出来る事は自ら進んでやっていきたいです。また、今この学校はあいさつをする人が少なくなっているので、お手本になれるように元気に自分から先にあいさつをしたいです。

中学2年生をいろんな行事で支えていきたいです。そのために、困っているときはちゃんと手伝って中学2年生が困らないようにしたいです。

中学生として頑張りたいことは、小学生のお手本になりたいです。そして、中学2年生を見習い、中学2年生の支えになれるようにがんばりたいです。

中学生らしく、下級生に尊敬されるようになるために、普段から決まりをしっかり守り、勉強も頑張り、色々な行事などでリーダーとして下級生の手本になれるようがんばりたいです。

私は今年、行事をもっと頑張ろうと思っています。特に頑張りたい行事は運動会です。運動会の練習では小学生の手本となるように参加したいです。そのために中学2年生を私の手本にしていきたいです。

中学生になって頑張りたいことは勉強です。特に頑張りたい教科は数学と国語です。なぜかという数学は好きだけど中学生になると予習をしなければついていけなくなります。早速予習を試してみたところすごく難しかったので、数学を頑張りたいです。また、国語は読む力をつけるために本をたくさん読みたいと思います。

教職員のコーナー

初めまして

西出 昇

私は滋賀県大津市からシニア派遣で赴任してきました。滋賀県で教員生活を35年おくり、退職後、2年間、滋賀県小中学校PTA連絡協議会事務局(県教育委員会生涯学習課内)に勤めていました。その間に両親の介護も終え、自分の人生で元気に仕事のできるあまり多くない残り時間を教育の世界で貢献したいと思い、「最後のご奉公」という心もちで日本を発ちました。

そして釜山に降り立って2ヶ月若が過ぎ去ろうとしています。随分、馴染みました。自分でもなぜそうなのかよく分かりませんでした。

釜山はすごく進んだ新しい部分と昔の面影を残しています。おそらくその昔のところに私の気持ちを取り込まれたのだと思います。朝早くに、トラックに果物や野菜を黙々と積み込んで行商の準備をしている仲睦まじい夫婦の姿や屋台風のお店や路上での物売り、お店の品ぞろえ、裸電球の温かい光、そして時折溝から漂う匂いすらもはるかに遠い昔である私の幼いころの光景に重なります。

懐かしい風景にも出会える釜山、そんなところで教育活動を再びできる機会を与えられ感謝と喜びの気持ちでいっぱいです。自分のなすべきことにひたすら邁進することで皆様への返礼としたいと思います。

成富 良太郎

私の出身は佐賀県唐津市です。陶器の唐津焼で有名な街で、歴史的にも韓国とは関係が深く、地理的にも大変近いです。韓国の麗水市と姉妹都市の条約を結び、2012年に開催された麗水世界博覧会には、唐津から船の直行便が出て、多数の市民が見学に訪れました。私もその一人です。釜山には、6回ほど観光で来たことがあり、広安里のビーチからセンタムの新世界まで歩いたこともありました。身近に感じてきた韓国の釜山に赴任が決まった時は、大変嬉しくほっとしました。学校の玄関にあるガラスケースの中に、唐津くんちというお祭りの曳山の人形を見つけたときは、大変驚きました。どなたかの贈り物だと思いますが、強い縁を感じずにはられませんでした。

さて、日本人学校に赴任してまだ2週間ほどですが、児童や生徒の皆さんが大変礼儀正しく、話を聞く真剣な姿勢や清掃で中学生が小学生を上手に教え導き、一生懸命に取り組む姿に感動しました。この釜山での出会いを大切に、違いを認められる児童・生徒を育てたいと思っています。釜山日本人学校の児童・生徒のために尽力したいと思います。どうぞ皆様よろしくお願いたします。